

平成28年度 第6学年 授業改善プラン

教科	観 点	課 題	指導の視点	具体的な手立て・改善策
国語	国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前学年までの漢字(特に書き取り)が十分定着していない。</li> <li>・文章の内容を正確に読み取り、表現する力に課題がある。</li> <li>・主語と述語の関係を押さえて、文章を書くことが苦手な児童が三分の一程度いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書き取り練習や確認テストを計画的に実施し、漢字を書く力を定着させられるよう指導する。</li> <li>・一つ一つの言葉を考えながら読み取れるように指導する。</li> <li>・主語、述語、修飾語の意味、使い方を指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字学習ドリルや中学年からの漢字の総復習プリント、ベーシックドリルで、楽しみながら語彙力を身に付けさせる。</li> <li>・毎日の家庭学習に音読を入れる。また、文章を要約する活動を多く取り入れ、要約した文章をペアで見合い、内容の理解が深まるようにする。読解のプリントを家庭学習に取り入れる。</li> <li>・日記や意見文を家庭学習に取り入れ、作文の機会をしっかりと確保し、文章力向上を目指し、担任が毎回丁寧に添削を行う。</li> </ul>
	話す・聞く能力			
	書く能力			
	読む能力			
	言語についての知識・理解・技能			
	全国学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて		<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の意味を考えながら、日常的に使えるように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出漢字の学習の際に、漢字の意味を伝えたり、同音異義語に注意させたりするなど、間違いやすい部分の指導を行う。また、辞書指導を取り入れ、漢字に対する学習意欲を高めるようにする。</li> </ul>
社会	社会的事象への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来事と時代を関連付けて理解することが苦手な児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年表の読み取りの回数を増やし、時系列ごとに出来事の因果関係を捉えられるようにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その当時の資料をもとに自分たちで学習問題を設定し、課題解決に向けて必要なことを調べてまとめ、発表する機会を増やしていく。そうすることで、人物、出来事、時代の関係をより正確に捉えられるようにする。</li> <li>・人物と出来事の学習をした後、振り返る時間を確保し、年代を整理する。</li> </ul>
	社会的な思考・判断・表現			
	観察・資料活用・技能・表現			
	社会的事象についての知識・理解			
	全国学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年表と資料を関連付けさせ、出来事に関してなぜそのようになったか自分の考えが導き出せるような、資料提示を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項をもとに考え、新出の学習内容との繋がりを資料から読み取りやすいように提示の仕方や学習の展開を工夫する。なるべく身近な生活に密着したような題材を取り上げ、意欲関心を高める。</li> </ul>
算数	算数への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決学習の流れを意識できるようになってきたが、自力解決の際に、既習事項と結びつけて考えることが苦手な児童がいる。</li> <li>・計算などの「知識・理解」「技能」の面で課題がある児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決学習の流れを常に意識しつつ、既習事項を生かしながら考えを深められるような見通しの場面を多く設定していく。</li> <li>・基礎的な計算がきちんとできるように、様々な時間を活用して指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の始めに既習事項を復習し、既習事項がその日の学習に結び付くようにしていく。</li> <li>・習熟度に合わせたヒントを工夫する。ヒントを出すタイミング、量まで意識する。</li> <li>・授業の始め5分間で、計算練習を反復させる。毎日の家庭学習でもドリル1ページに取り組む。</li> <li>・東京ベーシックドリルを活用し、帯活動で既習事項の復習を行い、定着を図る。</li> </ul>
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能			
	数量や図形についての知識・理解			
	全国学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて		<ul style="list-style-type: none"> <li>・式の役割として、計算をするだけでなく、場面や関係を表すことを理解できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立式の際に、言葉の式を使って式の意味を考える機会を増やす。</li> <li>・関係を数直線や線分図に表すことの良さを実感させる。</li> </ul>
理科	自然事象への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前学年までの「知識・理解」の定着が不十分で、既習事項を生かした課題解決が苦手な児童が三分の一程度いる。</li> <li>・問題解決的学習の流れ(問題把握～予想～実験～考察～まとめ)の定着はできつつあるが、形骸化してきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該学年だけではなく、過去の学習事項も定着できるよう指導する。</li> <li>・毎回の授業で、左記の流ればかりではなく、本時のめあてによっては、実験方法を自分たちで考えさせるなど、授業の流れを工夫しながら指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の始め5分間に、「復習タイム(プリント学習)」を設け、過去の重要事項の十分な定着を図る。そして、身に付けた知識を自信をもって表現できる場の確保をする。</li> <li>・問題解決的学習の流れが明確に分かるようなノート指導を行う。また、実験方法など、自分の考えをどんどん書き込めるような声かけを行う。</li> </ul>
	科学的な思考・表現			
	観察・実験の技能・表現			
	自然事象についての知識・理解			
	児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験方法を考え、結果から科学的な法則を考えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉やグラフ、表などで実験結果を表し、考察をまとめていくような声かけをしていく。</li> </ul>
音楽	音楽への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりに工夫して表現しようとする力に個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲における特徴を知り、歌い方や演奏の仕方を工夫していきけるような意識づけをしていく。</li> <li>・表現技能の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントとなってくる箇所を丸で囲んだり、線を引かせたりすることで、曲の特徴を理解して、表現を工夫できるようにする。</li> <li>・発声や楽器の奏法に気を付け、様々な音楽活動を通して、音楽の美しさを感じ取らせる。</li> </ul>
	音楽表現の創意工夫			
	音楽表現の技能			
	鑑賞の能力			
図画工作	造形への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の技量に対し、上手く表せる、表せない等の客観的要素で他と比較し価値判断する年齢に見られる傾向で、得意でないという理由で制作になかなか取り組もうとしなかったり、表現が雑で、粘り強く取り組めない児童がいる。</li> <li>・展覧会に向けて、よりよい表現の工夫し、作品の完成度を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ表現をするのか、表現で大切にしたいことは何か。個性とは何かということを中心に児童に問いかけ、考えさせる。</li> <li>・作品は表現の形であり、表現は伝えたいという思いから生まれることを意識させ、制作に臨ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個性的な作品を数多く鑑賞させ、上手く表すことの本質を感じ取らせる。</li> <li>・苦手意識を持っている児童に対しては、クラス担任と連携し個別に支援していく。</li> <li>・表現したいことを、言葉や、スケッチで明確にした上で、制作に臨ませる。作品チェックをし、より豊かな表現への具体的なアドバイスをしていく。</li> </ul>
	発想や構想の能力			
	創造的な技能			
	鑑賞の能力			
家庭	家庭生活への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業や実習には意欲的に取り組むが、学んだことを生かしてよりよいものにしていくために、自分の生活を振り返り、考えたり話し合ったりする活動には積極的でない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の生活を振り返り、学習したことを活用してより良く生活しようとする態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科ノートを活用し、学習の感想や振り返りの欄に必ず記入させ、実生活に照らし合わせて考える機会をもつ。</li> <li>・ノートや実践カードを友達と交流し合うことにより、より良い生活に気付かせ、実践の意欲を湧かせる。</li> <li>・家庭でも実践できるよう、実践の仕方や事例をわかりやすく提示する。</li> </ul>
	生活を創意工夫する能力			
	生活の技能			
	家庭生活についての知識・理解			
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な技能は定着しているが、自己の課題やチームの特徴に応じた工夫をする児童が少ない。</li> <li>・個人技の種目では、集中して練習する児童が多いが、チームプレーとなる単位では、感情的になってしまう児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題をつかんだり工夫したりするための視点を提示する。</li> <li>・勝敗を受け入れる姿勢を身に付け、協調性をもって運動に取り組む姿勢を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業のめあてを明確にしたり、タブレットや映像資料を活用したりして自己の課題や動きのこつをつかませる。学習カードを活用して工夫の仕方を示す。</li> <li>・グルーピングやルール作り、役割分担を丁寧に行い、称賛や励ましの声かけの視点を示す。</li> </ul>
	運動や健康・安全についての思考・判断			
	運動の技能			
	健康・安全についての知識・理解			